

第9回国際矯正歯科会議世界大会
第12回アジア太平洋矯正歯科会議
第79回日本矯正歯科学会学術大会
開催形式の変更について

近畿東海矯正歯科学会
会長 居波徹 先生

昨今の新型コロナウイルス（COVID-19）で影響を受けられた近畿東海矯正歯科学会会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

かねてよりご案内のとおり、第9回国際矯正歯科会議世界大会、第12回アジア太平洋矯正歯科会議ならびに第79回日本矯正歯科学会学術大会の開催形式につきましては、新型コロナウイルス感染の推移、現状を踏まえて慎重に検討を進めてまいりました。その結果、2020年10月4日（日）～7日（水）パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）での本大会の開催を断念し、延期は行わず、その代替としてウェブ開催とすることを決定いたしました。

これにより、事前参加登録は一時中止し、ウェブ開催の新たな参加登録等の準備が整い次第、本大会ホームページで改めてご案内いたします。また、演者の皆様には、発表データの登録等につきまして個別にご連絡を差しあげることとしています。ご参加を予定されている皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。なお、第79回日本矯正歯科学会学術大会の一部プログラムにつきましては現在、現地開催も視野に入れて検討中です。本大会ホームページにおいて随時情報を更新して参りますので、ご参照くださいますようお願い申し上げます。

この度の決定に至るまで、パシフィコ横浜を会場としての開催の可能性を様々な角度から模索してまいりましたが、世界各国から参加が予定されている国際会議であり、既に感染拡大している地域のほか、これから感染拡大の可能性もある地域からの参加も見込まれるため、開催することで国内感染の再燃や拡大が懸念され、多くの矯正歯科医が集う本大会が万一感染クラスター発生の場合となれば、その社会的責任あるいは世界の歯科矯正学・矯正臨床への影響は計り知れないと判断し、現地での開催を中止にせざるを得ないとの結論に至りました。

2012年に第9回国際矯正歯科会議世界大会の横浜開催が決定して以来、多くの近畿東海矯正歯科学会会員の皆様が初めてのアジア地域での本大会を長きにわたり心待ちにされてきたかと思えます。本大会の成功に向け鋭意準備してまいりました立場としては断腸の思いでございますが、ウェブ開催の成功に向け、心機一転さらに努力をしたいと決意を新たにしているところです。今般の状況に鑑みた今回の決定についてご理解いただきますとともに、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ウェブ開催となる本大会を成功に導くためには、近畿東海矯正歯科学会会員お一人お一人のご理解とご協力が何よりも大切です。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第9回国際矯正歯科会議世界大会
第12回アジア太平洋矯正歯科会議
第79回日本矯正歯科学会学術大会
大会長 小野 卓史